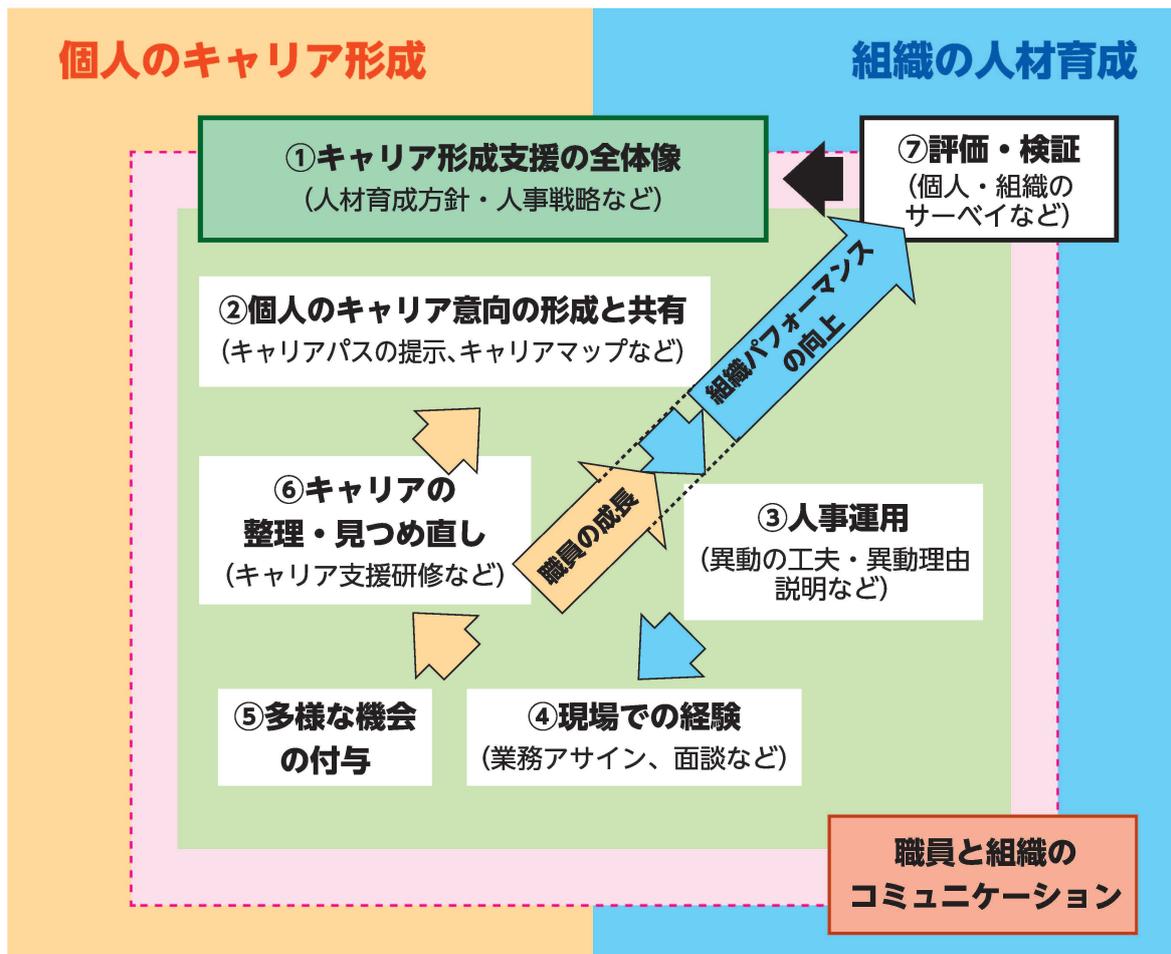


第2章 ガイドの全体像

「キャリア形成支援」というテーマで取り上げられる取組は、面談の設定、希望の聴取、研修の実施から人材育成の方針策定や成長支援の取組など、様々なものが言及されることがあります。何をどのように行うかは組織として目指す方向によって異なりますが、共通して言えるのは、これらの取組は個別に完結するものではなく、一つ一つの取組をつなげていき、取組を循環させていくことが必要ということです。

本書ではキャリア形成支援を以下の①～⑦の要素に分け、要素ごとに解説や参考情報、事例をまとめています。個人のキャリア形成と、組織にとっての人材育成の間でそれぞれの要素が循環していく中で、職員が自らのキャリア形成を通じて成長し、その成長が組織のパフォーマンスの向上につながっていく形をイメージしています。

- ①キャリア形成支援の全体像（第3章）
- ②個人のキャリア意向の形成と共有（第4章）
- ③人事運用（第5章）
- ④現場での経験（第6章）
- ⑤多様な機会の付与（第7章）
- ⑥キャリアについての整理・見つめ直し（第8章）
- ⑦評価・検証（第9章）



※上記はあくまでこのガイドのイメージであり、各府省で異なる形をイメージしていただいても差し支えありません。次の章からは、それぞれの要素について順番に解説していきます。